

講義名	国際経営特論		
科目区分	特論科目		
担当教員	上田 義朗		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 4時限		
	2018年度 大学院(修士課程) 修士課程(修士論文作成コース) / 2017年度 大学院(修士課程) 修士課程(修士論文作成コース) / 2016年度 大学院(修士課程) 修士課程(修士論文作成コース) / 2015年度 大学院(修士課程) 修士課程(修士論文作成コース)		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	24502

主題と概要

アジア諸国のビジネス情報について、新聞や雑誌の英文記事や英語論文を輪読・討論・解説します。特にベトナム・ラオス・カンボジア・ミャンマーといったアセアン諸国の後発国、さらにネパールやスリランカなど南アジア諸国を対象とします。

そのことを通してアジアにおけるビジネスの最新動向を知ると同時に、包括的な現地の知識を深め、さらに現地調査ができればと思います。

「理論」と「現実」の間を埋めることが「実学」とすれば、本講義は「現実」からのアプローチです。

到達目標

1. 英語のビジネス情報の「深読み」ができるようになります。
2. 中国企業の周辺アジア諸国の進出が活発です。その動向を知ることができます。
3. アジア諸国の英文記事は、比較的平易な英語が使用されています。英文ビジネス情報に気楽に親しむことができます。
4. 「現実」を「理論」的にどう読むか。「理論」から「現実」をどう解釈するか。こういった問題の実践を体験できます。

提出課題

レポートを書いてもらうことがありますが、受講者と相談します。

評価の基準

毎回の講義において、報告や討論の参加の度合いを評価します。

レポートを書いてもらう場合、その内容も考慮します。

履修にあたっての注意・助言他

英語の読解力が必要です。

また、場合によって英語での討論も実施します。

英語を読んだり、話したりする能力の向上を希望する受講生を歓迎します。

教科書

.使用しない。.

プリント資料及び参考文献

たとえば次のような英文ニュースから教材を作成して配布します。

ベトナムについて <https://vietnamnews.vn/>

ラオスについて <http://www.vientianetimes.org.la/>

これらは私の現地滞在時に毎日読んでいました。

授業計画

1. アジア・アセアン諸国と日本の動向
2. 同上
3. ニュース記事の輪読と討論と解説：ベトナム
4. 同上
5. 同上
6. ニュース記事の輪読と討論と解説：ラオス
7. 同上
8. 同上
9. ニュース記事の輪読と討論と解説：カンボジア
10. 同上
11. 同上
12. ニュース記事の輪読と討論と解説：ネパール・スリランカ・ミャンマー
13. 同上
14. 同上
15. 講義の総括

予習・復習

予習
 次回の輪読・討論のために事前に英文記事を読みます。

復習
 前回の講義の要点や疑問点について最初に発表してもらいます。

備考

自由な発言の雰囲気や密度の高い討論や講義することが理想です。

理想に向けて一緒に頑張りましょう。